

2023年室内環境学会学術大会大会長奨励賞 決定経緯

2023年室内環境学会学術大会 大会長 徳村雅弘

2023年室内環境学会学術大会では、ポスター発表70件、口頭発表84件の発表があり、大会長奨励賞としてポスター発表を対象とした優秀ポスター賞（学生会員／正会員・法人会員）、口頭発表を対象とした優秀口頭発表賞（学生会員／正会員・法人会員）および大会技術賞（正会員・法人会員）の審査を行った。

ポスター発表は分野ごとに学生会員を3群、正会員・法人会員を2群に分けた上で、各5名の審査委員により、①新規性、②信頼性、③技術的・社会的有用性、④学術的有用性、⑤表現力の観点から、口頭発表は座長および各セッション6名の審査委員により、①独創性、②新規性、③信頼性、③技術的・社会的有用性、⑤学術的有用性、⑥発表力の観点から審査を行い、次のように決定した。なお、本大会では最も優秀であったポスター発表および口頭発表それぞれ1件を、ウェリントンラボラトリーズジャパン賞とした。

ウェリントンラボラトリーズジャパン賞（ポスター発表）および優秀ポスター賞については、2023年学術大会中11月30日（木）の懇親会での表彰式にて受賞者に賞状が授与された。ウェリントンラボラトリーズジャパン賞（口頭発表）および優秀口頭発表賞、大会技術賞については2024年学術大会にて表彰式を行う予定である。

お忙しいところ審査をお引き受け下さいました審査委員の先生方には深く感謝申し上げます。

ウェリントンラボラトリーズジャパン賞

P-29# TD-GC-MS/TE-FIDを用いた車室内空气中に放散する未規制物質の網羅的なリスクスクリーニング手法の検討

○酒井颯大¹⁾、大森果菜¹⁾、徳村雅弘¹⁾、達晃一^{1,2)}、榎本剛司³⁾、小池あゆみ³⁾、篠原直秀⁴⁾、佐々木智啓⁵⁾、牧野正和¹⁾

1)静岡県立大学、2)いすゞ自動車(株)、3)日本電子(株)、4)産業技術総合研究所、5)(株)堀場エステック

B-12# 単純粗度配列建物モデルを対象とした自然通風解析とTravel Timeを用いた換気効率評価

○糸数立¹⁾、伊藤一秀¹⁾

1)九州大学

優秀ポスター賞（学生会員）

P-05# 自動車シート中難燃剤の経皮曝露評価と機械学習を用いた予測手法の検討

○石田真穂¹⁾、西村有里¹⁾、徳村雅弘¹⁾、王齊²⁾、井立寛人³⁾、白井智大³⁾、宮崎高則³⁾、大曲遼¹⁾、野呂和嗣¹⁾、雨谷敬史¹⁾、牧野正和¹⁾

1)静岡県立大学、2)労働安全衛生総合研究所、3)東ソー(株)

P-09# 皮膚ガスを指標とする「みどり」のストレス軽減効果の検証

○河内丈¹⁾、鶴見賢治²⁾、藤田威夫³⁾、村松真歩¹⁾、関根嘉香¹⁾

1)東海大学、2)川崎市環境総合研究所、3)川崎市建設緑政局

P-66# 自然換気下の伝統的町家及びRC造集合住宅における快適性に関する心理・生理学的研究（その1）

実験概要及び作業効率に関する検討

○宗菜津未¹⁾、山中俊夫¹⁾、崔ナレ²⁾、竹村明久³⁾、小林知広¹⁾、大野成陽¹⁾、長續仁志⁴⁾

1)大阪大学、2)東洋大学、3)摂南大学、4)(株)大林組

優秀ポスター賞（正会員・法人会員）**P-24 フラント拡散セルを用いた有機溶剤の皮膚透過性評価方法の検討**○王齊¹⁾, 小野恵美¹⁾, 岩瀬真喜子¹⁾, 柳場由絵¹⁾

1)労働安全衛生総合研究所

P-58 行動に伴う感染リスク可視化技術に関する研究

～その3 行動による感染リスクの拡がり方について～

○小座野貴弘¹⁾, 古川斐人¹⁾, 長谷川徹¹⁾, 笈川大介²⁾

1)五洋建設(株)技術研究所, 2) AIREX(株)

優秀口頭発表賞（学生会員）**A-15# 消しゴム内のフタル酸エステル類の定性、定量とその他可塑剤の使用状況について**○栗原萌葉¹⁾, 藤森崇¹⁾, 内野加奈子²⁾, 小栗朋子²⁾, 篠原直秀²⁾

1)龍谷大学, 2)産業技術総合研究所

B-24# 涙液蒸散ならびに化学物質曝露量予測のための眼球モデル○平山瑛章¹⁾, 久我一喜¹⁾, 伊藤一秀¹⁾

1)九州大学

C-08# 気中噴霧アロマ精油による香りが学習効率と印象評価に及ぼす影響（その4）

気中噴霧された精油の臭気濃度が香りの心理評価特性に及ぼす影響

○福本柊一郎¹⁾, 山中俊夫¹⁾, 崔ナレ²⁾, 竹村明久³⁾, 小林知広¹⁾, 山口剛毅¹⁾

1)大阪大学, 2)東洋大学, 3)摂南大学

優秀口頭発表賞（正会員・法人会員）**A-20 アルデヒド類および揮発性有機化合物が同時捕集・同時測定可能なパッシブサンプリング手法の検討**○松下尚史¹⁾, 石坂閣啓¹⁾, 川嶋文人¹⁾

1)愛媛大学

C-04 応答係数とMulti Agent Simulationの連携による教室内インフルエンザ感染リスクの推計○後藤伴延¹⁾, 武田結¹⁾, 橋本拓実¹⁾, 白澤多一²⁾

1)東北大学, 2)大妻女子大学

大会技術賞**A-26 寝具のダニ汚染を基準値以下に抑制するために必要な掃除頻度**○橋本一浩¹⁾, 小田尚幸¹⁾, 嘉山美里²⁾, 山崎史²⁾

1)(株)エフシージー総合研究所, 2)ダイソン(株)

C-15 住環境における1人当たりの換気量と建物関連症状に関する横断研究○岩山遼太郎^{1,3)}, 鈴木規道²⁾, 嶋谷圭一²⁾, 高口倅暉²⁾, 津村佳余²⁾, 中山誠健²⁾, 森千里²⁾

1)積水ハウス(株), 2)千葉大学予防医学センター, 3)千葉大学大学院医学薬学府